



会報

第 1849 回例会

2月2日 No26



世界へのプレゼントになろう

相模原中ロータリークラブ

会 長 豊岡 淳 幹 事 畀住 悦子

●友好クラブ

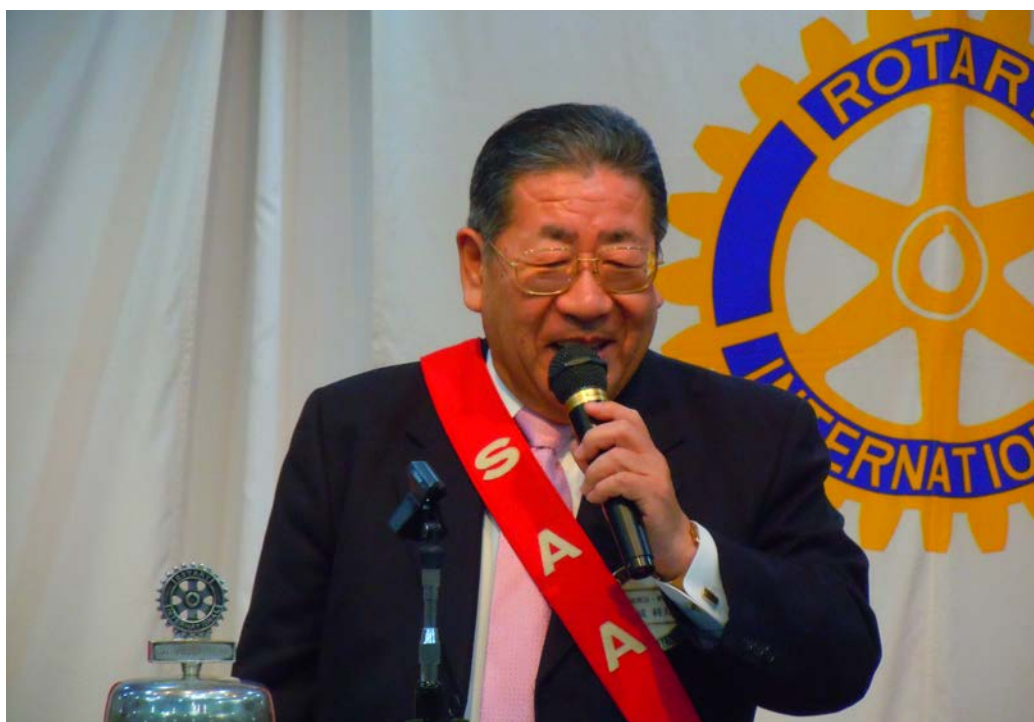
龍仁ロータリークラブ
国際ロータリー第 3600 地区

●姉妹クラブ

千曲川ロータリークラブ
国際ロータリー第 2600 地区

●提唱インターアクトクラブ

光明学園相模原高等学校
インターアクトクラブ



卓話「姓名判断について」

江成 利夫

昨日、半日ぐらいで資料をまとめてみました。昔から占いが好きで、今も昼間は仕事をしておりますが、傍らに占いや鑑定などをやっています。本日は姓名判断についてお話し致します。

①姓名判断の基礎—五つの数で占う姓名判断

姓名判断は字画数を調べることで、その人の運命を鑑定するものです。その歴史は古く、我が国でも、18世紀の初め頃から行われていたようです。

長い歴史とデータに培われた姓名判断には、いくつかの約束事があります。その中で最も基本になるのが、姓名の字画数の組み合わせを五つに分けることです。これは、何百年來の神主

や住職の口伝を集大成した「五聖閣」の熊崎健翁以来、姓名判断の基本となっているものです。

姓名は文字通り、苗字である「姓」と「名」から構成されています。姓は先祖代々、受け継がれてきたもので、それは容易に変えることのできない宿命的なものです。

その姓の下に名前がつけられることで、初めて人は、一人の人間としての人格が与えられ、その名前に秘められた数の不思議な力が、その人の運勢に大きな影響を与えます。

姓名判断では、姓名から導き出される五つの数が、どのように関わっているかをみることによって、その人の運勢を判断します。

その姓名から導き出される五つの数を<五星>と呼び、それぞれ「姓星」「主星」「名星」「外星」「総星」と示します。

②姓名判断の基礎② <五星>の数の出し方

「姓星」＝姓の字画数を足した数

「主星」＝姓の一番下と、名の一番上の字の画数を足した数

「名星」＝名の字画数を足した数

「総星」＝姓星と名星の数を足した数

「外星」＝総星から主星の数を引いた数

<例>				
	山	3	姓星	8
外	田	5		
星	太	4	主星	9
17	郎	14	名星	18
		総星	26	

※山田太郎の「郎」の字は14画になっている。
漢和辞典で調べてみると、「郎」は9画になっている。つまり、姓名判断で使う画数は必ずしも辞典の画数と同じではない。

<2016年を占う>

今年は丙申二黒土星（ヒノエサル ジョクトセイ）の年です。この二黒土星という星は、地味、大地、農業、母、忠実、作り出すなどの多くの現象を表す意味があります。今年一年間は、この二黒土星という星が働き、私たちの生活や社会情勢、天候に現れてくるのです。

具体的にいいますと、二黒土星の年はエネルギーを蓄積し、腰を低く構えて、苦勞に耐え忍ぶという年でもあります。内容の充実した目立たない年でもあります。

国内経済でも対外貿易の壁で、また外交・内政でもこの状況を国民が感じとり、自然と有事に備える状況となることが予想されます。

天候も一年を通し、概して曇天が多く、はっきりしない天候から、憂鬱症状になりやすい傾向がありますが、それに伴う健康管理の対処方法の工夫や弛まざる貯蓄により、家庭の明朗さを増やすもので、いたずらに風評により踊らされたりする一喜一憂は慎んで、的確な情報により、判断する

必要がある大事な年といえるでしょう。

“無事これ名馬”との諺のように、幸せな家庭は平々凡々の中にこそ、あるものと理解し、堅実な生活を心掛ける年といえます。

<九星別・あなたの今年の運勢>

○一白水星 調和運

（大正7、昭和2.11.20.29.38.47.56年、平成2.11.20年生まれの人）

気持ちにゆとりを持ち、人徳を積むように

○二黒土星 起伏運

（大正6、昭和元年.10.19.28.37.46.55年、平成元年.10.19.28年生まれの人）

分相応に、謙虚な心構えと慎重な態度で

○三碧木星 隆盛運

（大正5.14、昭和9.18.27.36.45.54.63年、平成9.18.27年生まれの人）

焦らずに熟慮断行こそ成功の鍵となる

○四緑木星 満悦運

（大正13、昭和8.17.26.35.44.53.62年、平成8.17.26年生まれの人）

楽しみごと多ければ、その反動に油断禁物

○五黄土星 変化運

（大正12、昭和7.16.25.34.43.52.61年、平成7.16.25年生まれの人）

今年是要注意、万事慎重に対処すべし

○六白金星 顕在運

（大正11、昭和6.15.24.33.42.51.60年、平成6.15.24年生まれの人）

手際の悪い処理こそ、災い転じて福となる

○七赤金星 困難運

（大正10、昭和5.14.23.32.41.50.59年、平成5.14.23年生まれの人）

しっかりした方針により、新しい道を出発

○八白土星 光明運

（大正9、昭和4.13.22.31.40.49.58年、平成4.13.22年生まれの人）

地道な不断の努力による生活基盤の充実を

○九紫火星 攻勢運

（大正8、昭和3.12.21.30.39.48.57年、平成3.12.21年生まれの人）

積極的に全身発展なれど熟慮断行と気配りを

（紙面の都合上、要約にて掲載）

＜相模原柴胡RCよりIMご挨拶＞



本日は例会の貴重なお時間を頂き、ありがとうございます。相模原柴胡ロータリークラブより、最年長の高橋良典と秋石利江の2名でお伺いさせて頂きました。

先程、お手元にパンフレットをお配りさせて頂きましたが、今年度のIMは大変シンプルな形で行います。

第1部は横浜高校野球部の名誉監督、渡辺元智氏による記念講演となります。今回は第1部のみ、相模原市少年野球協会より、役員や指導者の方々を50名程度招待する予定です。

これは今回のIMテーマ、「次世代への架け橋もう一度青少年奉仕を考え、実践しよう」という目的と、一般の方々にもロータリー活動への理解を深めてもらうことができればと考えています。

第2部の式典ですが、今回はフォーラムやパネルディスカッションは行いません。各クラブ会長による、クラブ奉仕活動の紹介を2～3分程度お願いしており、スクリーン上映致します。

第3部の懇親会のアトラクションは、現段階ではまだ未定ですが、できれば今回のIMテーマに添って、青少年による演奏や演出などを検討しております。当日までお楽しみにして頂ければと存じます。

クラブ創立10年目で、初めてのIMのホストクラブとなります。小川ガバナー補佐のご指導のもとで、会員一丸となって頑張りますので、ぜひ全員登録と、当日は多くの皆様のご出席を宜しくお願い致します。

本日はありがとうございました。

＜委員会報告ーロータリー財団委員会＞

ロータリー財団委員長

阿部 毅



本日「ロータリー財団基金寄付のお願い」という資料を配布させて頂きました。ロータリー財団月間は毎年11月ですが、当クラブでは10月の米山寄付とも重なりますので、2月になりましたら、寄付をお願いしますと言っておりました。

ロータリー財団は、ポール・ハリスの「世界で良いことをしよう」というシンプルな言葉から創設されましたが、現在ではポリオ撲滅活動を始め、大規模なプロジェクトに次々と活用されています。また財団寄付の使い道も明確になってきました。ぜひ、1人200ドルの寄付にご協力を宜しくお願い致します。

・ロータリー財団の歴史

1917年、アーチC. クランフ RI 会長が基金設置を提案。1928年にロータリー財団と名付け、新しい組織となり、現在の財団に。1947年、創始者ポール・ハリスが亡くなると、多くの寄付があり、「ポール・ハリス記念基金」となる。

RIの「慈善部門」として、ロータリアンの自発的な寄付のみで支えられている。

(紙面上、一部要約にて掲載)

○増強ショートスピーチ

阿部 毅

ロータリーに入会して20年程になりますが、じつは、まだ1人も推薦しておりません。3名位候補者はいたのですが、入会に至りませんでした。

自分がロータリーをやめるまでには、ぜひ2～3名はと思っています。韓国・龍仁RCとも、当クラブの会員が40名になったら、また姉妹クラブになればと言っておりました。(概要にて掲載)

報告事項

1. 第2780地区ガバナー事務所より

①「第8回新会員の集い」最終のご案内

開催日：2月12（金）～13日（土）1泊2日

場所：箱根湯本ホテル

②「第9回地区青少年奉仕委員会／アクトズミーティング／一泊研修実行委員会」

下記にて開催致しますので、ご出席をお願い致します。

日時：2月13日（土）13:00～

場所：第一相澤ビル

③「第5回日台ロータリー親善会議」(in 金沢)のご案内

第2610地区がホストとなり、開催されます。

日時：6月5日（日）13:00～ 登録受付

場所：石川県音楽堂コンサートホール

登録料：20,000円 登録期限：2月22日

※米山奨学会より、確定申告用領収書送付の件
昨年一年間（2015年1～12月）の寄付金について、確定申告で税務署に提出する必要書類が届きましたので、該当者にお渡し致します。

<理事会報告>

①ロータリーデー奉仕活動の件（2月21日）

今回はクラブとして実施しない。

②菊地啓之会員より出席免除申請の件。

2月よりの出席免除を承認。

③IM登録料の件

全員登録とし、9,000円×32名＝288,000円をクラブ負担にて承認。

例会プログラム

2月 9日ゲスト卓話 市産業振興財団

常務理事 石川 敏美氏

16日卓話 菊地 啓之会員

23日「新会員の集い」報告

担当：池之上 和哉会員

●事務局 〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3

相模原商工会館3F

TEL 042-758-5750 FAX 042-758-1605

●例会場 相模原市民会館「あじさいの間」

〒252-0239 相模原市中央区中央3-13-15

TEL 042-752-4710 FAX 042-753-2000

●E-mail: rotary@tbgt-com.ne.jp

<2月お祝・会員誕生日祝>



・早川 正彦会員 2月14日

・横溝 志華会員 2月24日



例会記録

点 鐘 12時30分

場 所 相模原市民会館「あじさいの間」

司 会 江成 利夫SAA

斉 唱 「国歌君が代」

ロータリーソング「四つのテスト」

ソングリーダー 竹田 繁会員

ビジター 松田 壮吾君（相模原RC）

高橋 良典君（相模原柴胡RC）

秋石 とし江さん（ ）

出席報告

会 員	出席(出席対象22名)	事前メイク者
32名	28名	0名
欠席者	本日の出席率	修正出席率(1/19)
1名	96.55%	89.29%



●例会日 毎週火曜日 12:30～13:30

●編 集（親睦活動委員会）

委員長 田後 隆二 副委員長 甲斐 美利

委 員 川合 貞義、永保 固紀、竹田 繁

中里 和男、菊地 啓之、丸子 勝基

小崎 直利、阪西 貴子、池之上和哉

●<http://sagamihara-naka.sakura.ne.jp>